

昭和 54 年度研究プロジェクトについて

プロジェクトの基調

基調テーマとして「日本の社会保障の発展・向上についての基本的要件」を掲げる。わが国の社会保障は、日本の社会形態の基調に適合した組織とその運営によって支えられなくては、国民福祉の維持および向上といった所期の効果を充分発揮し難いので、国民生活における社会保障の役割、社会保障政策と雇用問題とのかかわりについて究明する。

サブテーマ

第 1 社会保障費の急速な増大につれて、諸政策案や諸提案の効果判断に役立つ合理的、客観的な政策基準の確立が緊急の課題となっている。このため諸政策が社会保障に与える直接的・間接的效果にとどまらず、経済的・社会的効果を含むより広範な効果測定基準を確定し、これらを総合的に包含するフレームワークを設定し、目下の重要政策課題について実証化を試みる。(部門別テーマ 1, 3, 4)

第 2 長期的な雇用不安のもとで、各国は失業保険や年金制度などの改正を通じて、いかに雇用政策との調整や社会保障財政の安定化を図っているかについて比較検討し、日本的条件の特徴と今後の政策方向を明らかにする。(部門別テーマ 2, 5)

第 3 社会福祉の供給主体のあり方、とくに社会福祉サービスの供給主体としての民間部門の社会福祉における「措置」および対人サービスを効果的におしすすめるに必要な行政組織のあり方について検討する。(部門別テーマ 6)

部門別テーマ

- 1 社会保障の生活水準におよぼしている効果に関する統計的研究(研究第 1 部統計調査分野)
 - ・世帯からみた社会保障の所得再分配効果
 - ・世帯類型における社会保障の役割
 - ・生活保護の動向と社会的、経済的要因の関係に関する統計的研究

- 2 雇用問題と社会保障政策に関する国際比較研究(研究第 1 部制度分野)

- ・雇用政策と社会保障の調整
- ・雇用不安と社会保障財政

- 3 医療費増嵩の需要、供給分析——とくに老人医療を中心にして——(研究第 2 部経済分析分野)

- ・老人医療の経済効果
- ・医療保険における受益者負担の需要効果
- ・医療費の地域差と資源配分の地域差
- ・診療報酬と医療費

- 4 医療費コントロールの政策手段とその効果分析(研究第 2 部経済分析分野)

- ・予防医療の経済効果
- ・医療需要の価格規制
- ・供給量規制の経済効果
- ・海外における諸政策——ILO 報告、OECD 報告の再検討——

- 5 ソーシャル・アドミニストレーションの視点からみたわが国の社会福祉の課題(研究第 3 部社会分析分野)

- ・福祉と雇用——とくに老人福祉を中心に——

- 6 1980 年代における社会福祉の課題と戦略(研究第 3 部社会分析分野)

- ・1980 年代の社会福祉の供給組織

研究会

プロジェクトの課題をそれぞれの専門的視点から究明するために以下の諸研究を置き、各研究部の研究を促進する。

- ・経済分析研究会
- ・統計調査研究会
- ・社会分析研究会
- ・制度研究会

社会保障をめぐる基礎的知識を深めるとともに社会保障政策の現実的動向を把握するために所内に研究会を置く。

- ・経済・社会研究会
- ・政策研究会